

題字：柴山 抱海 氏

# 鳥取東高通信

第195号  
令和5年12月

編集・発行  
鳥取東高等学校PTA  
鳥取県立鳥取東高等学校  
印刷 日ノ丸印刷株式会社



## 第74回 東高祭 シン・ヒガシコウサイ ～燃やせ紫紺の炎 繋ぐ101年の想～

3日目〈全員参加の夕べのつどい〉



### 二学期の終わりに 副校長 堀尾 英明

二学期の学校行事は、コロナ禍前の形で実施することができました。東高祭では合唱コンクール・模擬店・夕べの集いがあり、第二学年の研修旅行は、普通科の生徒は北海道、理数科の生徒は屋久島へ行き3泊4日で実施されました。これらの行事の中で、今まであまり接する機会がなかった人との新たな出会いを経験した人もいるでしょう。

人は人との出会いの中で影響しあい変わっていき、人との関わりの中で成長していきます。家族・友人・自分の周りの人とのように関わっていますか。自分自身を振り返り、感謝の気持ちを持って接しているだろうか、周りに目を向け相手を気遣っているだろうかと考えることがあります。

人との関わり以外にも、何かに努力する過程の中でも成長しています。学習・部活動では結果だけでなく、その過程にも意味や価値を見出してほしいです。学習では、特に3年生のみなさんは進路実現に向けて、今まさに精一杯取り組んでいることでしょう。最後まで粘って努力を続けてほしいです。きっと、将来につながる生きていく力が得られるはずです。

生徒のみなさんに、切磋琢磨できる友との出会いがあることを願っています。



### 大人が今できること

PTA副会長 堂前 靖彦

本年度もあと5か月となりました。新型コロナも5類に引き下げとなり、昨年度までは私生活でも、そして学校行事やPTA活動でも様々な制限がありましたが、少しずつ緩和されてきています。現在の高校生たちは、貴重な青春時代の思い出を満足に作れなかった世代の生徒たちですので、せめて高校時代の大切な思い出を充実したものにできるよう、PTA執行部として陰ながら応援しています。

高校生活が終われば、次は大学生や社会人に進学・就職して、さらに大人への階段を上っていく生徒たち。そんな私たち保護者のもとを巣立っていく子どもの笑顔をもっともっとたくさん取り戻すことができるよう、残りの5か月も微力ながら頑張っていきたいと思います。



10/3 &gt;&gt;&gt; 6

study trip

# 2学年 研修旅行

## 4年ぶりの研修旅行！

2学年主任 岡村 吉彦

10月3日～6日、3泊4日の日程で、北海道と屋久島の研修旅行が実施された。コロナが5類に移行したのを受け、実に4年ぶりの通常コースでの開催となった。今の2年生は中学校での修学旅行が日程短縮となったり、昨年度の1泊2日のスキー実習も日帰りでの実施を余儀なくされた学年であり、今回の研修旅行を生徒たちも楽しみにしていた。その思いが通じたのか、当日は参加者全員が元気に出発することができた。これも偏に保護者の皆様の家庭でのサポートがあってこそと感謝申し上げたい。

このうち、普通科については、ウポポイ（民族共生象徴空間）でアイヌの歴史・文化について学んだり、尻別川のラフティングや牧場でのフィールドワークを体験して、北海道の持つ社会の多様性や雄大な自然を肌で感じる事ができた。また班別自主研修では札幌や小樽を巡検したり、北海道の味覚を楽しんで、SDGsや地域資源を活用したまちづくりの一端に触れることができた。理科科も屋久島で自然散策やリバーカヤック、シュノーケリング等を体験し、自然環境や自然科学に対する理解をしっかりと深めることができた。

これから生徒たちは、卒業アルバムを眺めたり、同窓会で再会したときに、この研修旅行の思い出を笑顔で語り合うことだろう。彼らの心のアルバムに貴重な1ページを加えることができてよかった。生徒たちが今回の研修旅行を通して、感謝の心を持つとともに、多様な社会の担い手としての資質を育んでくれれば幸いである。支えていただいた保護者の皆様、関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 研修旅行

2年1組 中野 咲羅

4日間の研修旅行が終わり日常生活に戻った今日も、楽しかった思い出が頭から離れません。

私達は中学生の頃から新型コロナウイルスの影響で様々な行事が思うようにできず、楽しいけれど少し物足りない思いをかかえて生活してきました。しかし、今年から規制が緩和されようやく私達が理想としていた生活が戻ってきてあります。

そんな中、一生に一度しかないこの仲間と過ごす研修旅行に行けたこと、そこで紡いだ思い出、どの部分を切り取ってみても最高のものになったと思います。そして、楽しいことだけでなく、これからの自分の為になることを学ぶ機会もたくさんありました。将来の自分の姿や未来の為に今の自分にできることなど、これからの社会の中核を担うであろう私達が考えるべきこととしっかり向き合うことができたと思います。

研修旅行を通して学んだことを忘れず生活していきたいです。そして、関わってくださった全ての人達に感謝したいです。

1組





2組

### 研修旅行

2年2組 上村 涼平

僕たちは、予定通り10月3日から10月6日に3泊4日で北海道に研修旅行に行くことができ、充実した4日間を過ごすことができた。

まず、研修旅行の一週間前までテストに追われていて、北海道に行くという実感が全く湧かなかった。でも、当日いざ飛行機に乗ってみると自分は周りの友達と興奮していて、その時初めて北の大地に上陸できるという喜びを感じることができた。

僕は、この楽しかった研修旅行の中でも3日目の自主研修が特にいい経験だったと思う。あまり行く機会のない北海道で限られた時間の中、行きたい場所ややりたいことを自分たちで計画を立て行動することがすごく大変だった。

またこの4日間では、普段学校でしか会えない友達と一緒に体験したり、ホテルで騒いだりして友達の新たな一面を知り、より仲を深めることができたと思う。

そして、何より研修旅行に行けたことに感謝したい。



### 研修旅行

2年3組 片瀬 杏梨

私が一番印象に残っているのはウポボイです。「ウポボイ」はアイヌ語で「みんなで歌うこと」を指します。ウポボイでは、アイヌ民族の方々の文化や生活、風習について学びました。アイヌ民族の方々は全てのものに神が宿ると信じ、とても優しい方々であるということ、今は高齢化のため人数が減っているということが分かりました。またウポボイには住居や展示物、おもちゃがあり、実際に見たり自分で体験することもできました。歴史を肌で感じるができ、良い経験になりました。

2日目は、尻別川でラフティングをしました。班のみんなと協力して漕いだり、みんなで飛び込んだのが楽しかったです。その後、牧場や堆肥センターに行き、SDGsに関連した活動について学びました。牧場では牛の餌やり、搾乳体験をしました。特に餌やりは初めてやったので怖かったけど、楽しかったです。バスや飛行機、ホテルなどを含め最高の思い出を作ることができた4日間でした。

3組







4日間を通して 2年4組 松村 碧泉  
私が4日間で一番印象に残っていることはみんなと4日間一日中過ごせたことです。いつも一緒に授業を受けているみんなと見知らぬ土地で、早起きをしてたくさん活動をしたり、色々な場所に行ったり、おいしいご飯を食べて夜まで楽しくはしゃいだりした全ての時間がとても印象に残り、一生の思い出になりました。

1日目はウポボイでアイヌ文化に触れ、綺麗な湖の前で素敵な写真を撮りました。2日目はラフティングやニセコでの森林散策などで自然に触れ、ジンギスカンを食べました。偶然見つけたリスがかわいかったです。3日目は班のみんなと札幌市内を歩き回りました。水族館やテレビ塔、札幌駅に行き、昼はスープカレーを食べました。4日目は白い恋人パークでかわいい写真がたくさん撮れました。4日間を通してハプニングもあったけれど一生忘れられない大切な思い出になりました。



研修旅行 2年5組 中谷 将也  
鉄の機体に心躍らせ、いざ最北端の地、北海道へ。空港の自動ドアが開いた瞬間そこが北海道であるとわかるのには十分すぎる風が体にあたる。  
初日僕たちが訪れたのは、ウポボイ。アイヌ民族の歴史に触れたり、アイヌ民族の伝統的な楽器、ムックリなども体験した。宿はルスツリゾートホテル。とにかく良かった。  
二日目午前中は、牛さんに餌をあげたり、搾乳体験をした。かわいかった。午後はラフティング。迫力のある川を下る感覚は爽快であった。  
三日目の自主研修では小樽や札幌をめぐり、北海道の食べ物やお土産を買ったり、友達と一緒に買い物をすることはとても思い出に残った。  
最終日、白い恋人パークは心躍る仕掛けが沢山あった。そして、最後の北海道のご飯は海鮮丼で幕を閉じた。ー完。





## 研修旅行の意義

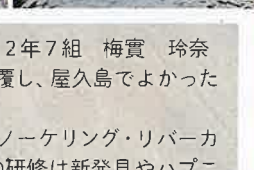
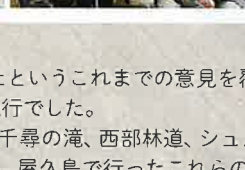
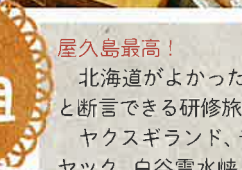
2年6組 井上 聡大

僕は研修旅行に行って、とても有意義な時間を過ごしたと  
感じている。そう感じた理由は2つある。

1つ目は、学習という枷から解放されて学校の仲間達と  
自分が感じている非日常感を共有することができるからだ。  
学校内でしか関わらない人と校外で行動するのは、ものす  
ぐ特別なことで、大切な経験となるだろう。そんな経験を  
することは、勉強で疲弊している学生達にとって必要なことだ。

2つ目は、自分が暮らしている地域とは違う場所に訪れる  
ことで、新たな教養や知識を獲得することができるからだ。  
例えば僕は北海道で回らない寿司屋に行った。ここで僕は  
今までに感じたことのないような魚介のおいしさ、薬味の繊細  
さを知った。このように、未体験なことをすることで自分の知  
らない世界の奥深さを知ることができる。

以上の理由より、研修旅行には具体的で多くの意義があ  
り、現代に必要だと考えた。



## 屋久島最高！

2年7組 梅實 玲奈

北海道がよかったというこれまでの意見を覆し、屋久島でよかつた  
と断言できる研修旅行でした。

ヤクスギランド、千尋の滝、西部林道、シュノーケリング・リバーカ  
ヤック、白谷雲水峡。屋久島で行ったこれらの研修は新発見やハプニ  
ングの連続で全て鮮明に記憶に残っています。猿、鹿、亀を間近で見  
れたこと、蛭に噛まれた人がいたり昔話に出てきそうな昼食、スマホの  
カメラを使いこなすガイドさん。特に亀と超近距離で泳げたのは一生  
のうちに味わえるかわからない経験なので良い思い出になりました。

そして何よりも宿のご飯が美味しすぎて毎回の食事が楽しみでし  
た。夕食後の合唱や誕生日をクラスみんなで祝ったり早朝にみんなで  
日の出を見に行けたのは7組だけだからこそできた事だと思います。  
全てが楽しくて笑いが絶えない4日間でした。

この機会がなければ人生で屋久島に行くことはなかったと思うしこ  
の魅力にも気付かなかったと思います。知れば知るほど沼る場所、屋  
久島。絶対にまた行きたいです。屋久島最高！





「シン・ヒガシコウサイ」 生徒会担当 清水 幸代

新型コロナウイルスの5類移行を受け、今年の東高祭は4年ぶりに東高名物の合唱コンクールや模擬店が復活した。この3年間、他の催しも計画はするものの中止や企画変更が続いており、以前のような学校祭を知る生徒は誰もいない。さらに新企画「ペットボトルキャップアート」も始まり、生徒も教職員も手探りで準備を進めていった。

初日の梨花ホールでは開会式のあと「ゴスペルスペシャルコンサート」を鑑賞。生徒は声を出したり、体を動かしたりしてライブを楽しんだ。続いて、文化部各部と理数科の発表があり、合唱コンクール本選が行われた。優勝クラスの歌声は「さすが3年生」と思わせるもので、これを見た1・2年生が合唱コンクールの伝統を繋いでいってくれるものと思う。

2日目は午前中、体育館でクラス演技を行い、各クラスが工夫を凝らした劇やダンスを披露。職員の名演技も華を添え大いに盛り上がった。午後からは3年生の模擬店、2年生のクリエーションが開催され、中庭のミュージックファクトリー・アトラクションに多くの観客が集まった。さらに文化部展示や茶道部お茶会など盛りだくさんの2日目となった。

雨のため1日延期された体育祭当日、グラウンドコンディションが悪い中だったが、なんとかすべての競技をすることができた。そして全校生徒が参加しての夕べの集いはみんなで校歌を歌い感動的なフィナーレとなった。

新型コロナだけでなく、熱中症にも気を付けながらの3日間だったが、何よりも保護者の皆さんに、生徒が作り上げた新しい「シン・ヒガシコウサイ」を見てもらえたことが一番であった。





# 東高祭

2023.  
9.7 木

2日目

クラス  
演技

1-4 衝撃のラスト.....

東高祭 2日目♪ 始まるよ〜♪

1-2 みんなで学ぼう  
2世代の蛙化現象

1-3 推しの子 (1-3ver.)



1-5 Let's Dance!!



1-6 T.H.Collection 2023



1-7 本日はどのような  
クレーンを?



1-1 一東龍団



2-1 やあ、僕はオラフ!



2-2 ブラックキャット  
オーディション



2-4 LOVE STORY IN ZIBURI WORLD  
〜ハッピーウェディングをさえて〜



2-7 ゼルダの伝説  
〜7組 オブザリンセス〜



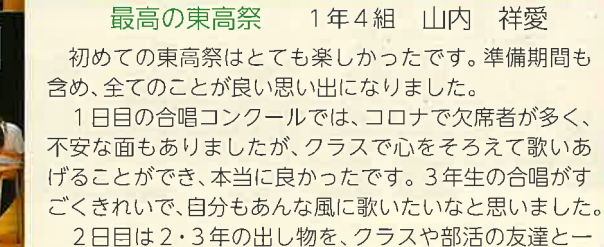
3-1 ロミオと  
ジュリエット



2-5 夏はポケモン



2-6 コント  
「新任教師がやってきた」



最高の東高祭 1年4組 山内 祥愛

初めての東高祭はとても楽しかったです。準備期間も含め、全てのことが良い思い出になりました。

1日目の合唱コンクールでは、コロナで欠席者が多く、不安な面もありましたが、クラスで心をそろえて歌いあげることができ、本当に良かったです。3年生の合唱がすごくきれいで、自分もあんな風に歌いたいと思いました。

2日目は2・3年の出し物を、クラスや部活の友達と一緒に回りとても楽しむことができました。来年自分達もするのが楽しみです。

3日目の体育祭は私の中で一番楽しかったです。自分で競技はもちろんですが、自分のクラスメイトや、部活の先輩を応援するのも楽しかったです。その後のフォークダンスがすごく盛り上がっていて、終わるのが残念に感じました。

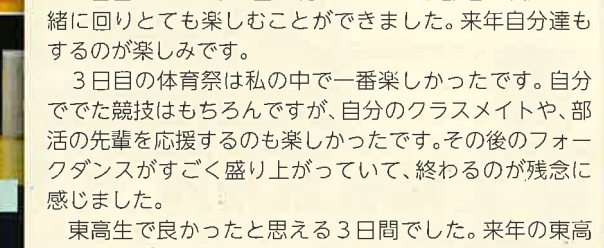
東高生で良かったと思える3日間でした。来年の東高祭がとても楽しみです。



2-3 怪



3-2 筋肉は一日にしてならず。



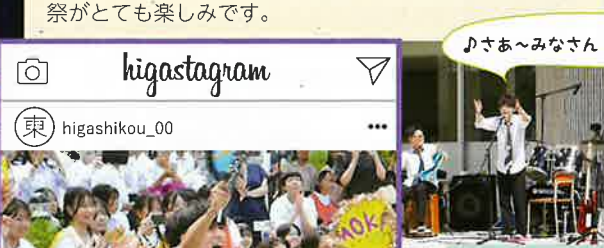
3-3 うらしま太郎?



3-4 相棒は俺だ!!



3-5 筋ピース



♪さあ〜みなさん! 一緒に♪



3-6 しやるういーだんす?



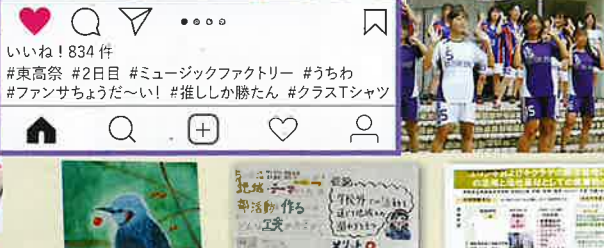
ミュージックファクトリー



3-7 東高王  
〜駿台を超えてゆけ〜



文芸部販売



先生ステージ



茶道部お茶席



美術部作品展示

探求発表展示



理数科発表展示



華道部展示





令和5年度東高祭 2年6組 竹内 快

シン・ヒガシコウサイ〜燃やせ紫紺の炎、緊く101年の想〜というテーマのもと3日にかけて東高祭が行われました。今年は4年ぶりに規制の全くない状態で開催することができました。準備期間から少しずつ装飾されていく教室や、体育祭の練習などで東高祭を実感する中で、今年は特に印象に残っている物があります。それは多くの教室から聞こえてくる合唱練習です。復活した合唱に向けて全校生徒が取り組む姿勢はとても輝いて見えました。本番では3年生を筆頭に熱気の冷めない3日間でした。

3日目の体育祭では天候のアクシデントもありましたが、丸一日グラウンドには声援が飛び交っていました。特に東高祭を締めくくるタペの集いでは高校生らしい青さをとても感じました。実はこの時虹が出ていたのですが、よりエモさが増していましたね。あつという間に終わってしまった東高祭ですが、とても最高の思い出となりました。早くも来年の東高祭が楽しみです。

